

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2072400845		
法人名	特定非営利活動法人まんてん		
事業所名	グループホームかぞく		
所在地	長野県上伊那郡中川村大草4631-9		
自己評価作成日	平成22年1月15日	評価結果市町村受理日	平成22年4月27日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://aaa.nsyakyo.or.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=2072400845&SCD=320
----------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社マスネットワーク 医療福祉事業部
所在地	長野県松本市両島7-1 オフィス松本堂2A
訪問調査日	平成22年2月24日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

施設という考え方は無く、疑似家庭ではあるが家族の生活に心掛けております。笑顔と笑い声が絶えない毎日に努力をしております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

家族のように楽しく生活していける場作りをとの理念を職員全員で共有し、明るい職場づくりがされている。職員が代わるときは、引継ぎの期間を十分に取り、スムーズに移行できるよう配慮している。経験ゆたかな職員と若い職員が一致協力し、利用者への声かけ、こまめな介護等、個別対応に配慮した介護がされている。また、利用者の受け入れに際しても、わけ隔てなく出来る限り入所受け入れに努められている。

サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

ユニット名()		項目	
項目	取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキ-) + (Enterキ-)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	(1)	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念は掲示しており、職員はその事に付いては理解しております。	理念の掲示、職員への徹底が図られており、楽しく生活できる施設作りがされている。	
2	(2)	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地区加入しており、お祭りに参加したりボランティアで踊りなどに来て下さいます。	地区への住民参加で地区の行事・祭りに参加したり、ボランティアさんの来訪もよくされている。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	ホームでの事業を行なうときは、ご近所の方を招待したりしております。		
4	(3)	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議での報告はしております。	昨年中5回の運営推進会議が開催され意見交換がされ、席上出された意見は職員全員で検討されている。	
5	(4)	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	役場等の担当者との連絡は密に取っております。	村役場が近くにあり施設側からも、機会あるごとに連絡に行くとともに、運営推進会議だけでなく家族会の開催に際しても担当者の出席をしてもらっている。	

外部評価結果(グループホームかぞく)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	(5)	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束はしていません。施錠は夜間の防犯のみです。	身体拘束の対象者はなく、施設の入出口、居間の吐き出し口の施錠は夜間の防犯上施錠をするが昼間は施錠はしない。身体拘束のマニュアルが未整備である。	身体拘束のマニュアルを早急に整備され、職員に何が身体拘束にあたるのか、身体拘束をする際の注意事項等徹底した研修がされることが望まれる。
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待はありません。勉強はもう少ししたほうが良いと思います。		
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	勉強はしたほうが良いと思います。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所時説明しております。		
10	(6)	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	月一度のお便りに、要望等あれば出してお知らせするようにお願いしております。	月々の利用料請求書送付の際に、意見・要望があればお知らせいただくよう手紙を同封している。	
11	(7)	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月のカンファレンスでの意見交換等しております。	毎月のカンファレンスの際に、職員2名が交替で話題・議題の提供をする仕組みとし、全員が発言できる機会作りに努められている。	

外部評価結果(グループホームかぞく)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	行なっております。		
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修会は勤務の関係で、なかなか出すことが難しい状態です。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	連絡会に加入し協働しております。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	努めております。		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	努めております。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	努めております。		

外部評価結果(グループホームかぞく)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	トイレの誘導、入浴もまず本人に声掛けし本人の意思を尊重できるように心掛けております。		
19		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会にみえた際には、日々の様子を話しどんな生活を話しているかを分かってもらうようにしております。		
20	(8)	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	努めております。	馴染みの人や、場所の把握に努めてはいるが利用者の高齢化も進み、外出できる機会が少なくなっている。	
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	意志の疎通ができるよう、利用者同士の間に入り、関係を築けるよう支援しております。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	今までにその様なケースはあまりせん。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの思いを把握し、本人本位に検討しております。	職員各人が利用者二名の担当者として、個々の思いや、意向の把握に努め、ケア計画の見直し、月々のカンファレンスでの意見提出に努められている。	

外部評価結果(グループホームかぞく)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時の生活歴の把握、センター方式により把握に努めております。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日誌等からその本人の状況を読み取り、本人と接して把握に努めております。		
26	(10)	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	カンファレンスの際に一人ひとりの様子を話し合い、その人に合った支援ができるように話し合っております。	3ヶ月、6ヶ月ごとに職員全員でカンファレンスを開き、ケア計画の目標が利用者の現状にマッチしているか見直しを繰り返し、家族の方への説明をし、同意署名も受けている。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日誌等に個別に日々の様子を記録し、活かしております。		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	努めております。		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	努めております。		

外部評価結果(グループホームかぞく)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	(11)	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>かかりつけ医とは継続的に検診を受け、緊急時には協力体制を結んだ医師のお世話になっております。</p>	<p>施設として診療所・歯科医師との協力体制を確保し、定期検診・夜間の緊急対応への指導も受けられる状態にある。また、利用者個々の担当医への受診にも配慮されている。</p>	
31		<p>看護職との協働</p> <p>介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>利用者に異常があった時はその都度看護師に連絡をとり指示を受けております。</p>		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時には、何度か面会に出向き様子を把握し相談しております。</p>		
33	(12)	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>家族との相談や、職員の対応方法等を医療と相談しております。</p>	<p>施設として「利用者の重度化した場合に対する対応の指針」が定められており、入所時から家族の意見・要望の聞き取りをし、職員で共有すると共に関係者での協議もされ、見取りの事例もある。</p>	
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>受講しております。</p>		
35	(13)	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>地区との災害協定の締結をしてあります。訓練は地区の代表者が視察に来ております。</p>	<p>地区の代表者との間に災害時協力への協定が締結され、地区の代表者視察による訓練もされている。</p>	<p>災害時における地域の避難協力関係は確立しているので、今後は全職員の意思と地域の協力体制を合わせた実践的なマニュアルを整備され、引き続き地域連携のもと、繰り返した訓練が望まれる。</p>

外部評価結果(グループホームかぞく)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	対応しております。	利用者の尊重、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応がされているが、プライバシー保護マニュアルが未整備である。	プライバシー保護マニュアルの整備をされ、職員の研修をされることが望まれる。
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	働きかけは心掛けております。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人と接する上で希望に添った支援ができるように心掛けております。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	身だしなみを整えるよう支援し、職員の意見を押し付けることのないようにしております。		
40	(15)	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者と共に食事作りをし、そこから生まれる楽しみを引き出せるように支援しております。	職員と利用者が共同で食事作りをし、皆で会話をしながら、楽しく食事されている。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分は決められた時間ではなく必要に応じ、こまめに摂っていただいております。		

外部評価結果(グループホームかぞく)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	清潔に保てるよう支援しております。		
43	(16)	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人ひとりに合った声掛けをし、定期的にトイレに誘導しております。	利用者の排泄パターンにあった声掛けをし、定期的にトイレ誘導をして、できる限りオムツを使用しないよう、排泄の自立支援に努められている。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	野菜や果物の摂取を多くしたり、お茶を沢山飲むように声掛けをしています。		
45	(17)	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	声掛けはするが、無理強いはず入浴できるようにしております。	毎日風呂の準備がされ、利用者の意思確認により自由にゆったりした気分で入浴できるよう支援がされている。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	冬は居室を暖め、夏は寝る前に居室を涼しくしておく等安心できる状態にしております。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	食事の終わった方から、直接本人に渡し服用していただいております。		

外部評価結果(グループホームかぞく)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一日の中で遊びを取り入れたり、気分転換にドライブや買い物等支援しております。		
49	(18)	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	散歩を中心に、外出の機会をもっています。利用者によっては買い物と一緒にさせていただいております。	出来る限り、散歩、畑仕事と外へ出るよう声かけ・誘導に努められ、買い物への同行もされている。季節的な行楽への外出にも配慮されている。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本の希望や、本人の状態に応じて支援しております。		
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望に沿っております。		
52	(19)	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	工夫しております。季節ごとの飾り物に気を付けております。	共用空間部分には、季節感覚を引き出すための植木・生け花・壁飾り等に工夫がされ、廊下に長椅子を置き、一人で過ごせる空間作りへの工夫もされている。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	寒い日は炬燵にあたりながら話をしたり、お茶を飲んだりしております。サンルームには長椅子を置いて環境造りしております。		

外部評価結果(グループホームかぞく)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	(20)	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	調度品は個人の持ち込みになっておりますので、入所時に用意していただいております。	利用者個々の使い慣れた家具等を自宅から持ち込み、居心地よく過ごせる居室作りがされている。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	全てがバリアフリーに成っております。手摺は丸棒タイプでなく槌状に成っており握力が落ちてでも使えるように工夫してあります。		